

# H19年度 事業評価シート兼主要施策成果報告書

計画コード	事業名	部名	企画政策部
19148	事業仕分け	室名	行政改革室

成果報告	予算／大事業名	3 一般管理費			
	予算／中事業名	7 事業仕分け事業			
		予算額 (円)	決算額 (円)	翌年度繰越額 (円)	不用額 (円)
	当年度事業	2,706,000	2,199,206	0	506,794
	当年度への繰越事業				77 ページ
					ページ

<b>1次評価：担当室長</b>		実施	H 20 年 5 月 16 日
①目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	事業実施成果	<p>地方分権が進む中、権限移譲で行政が肥大化し、市民の活力を削ぐこととなるため、市民の視点で83(実質84)事業を2日間かけて判断する事業仕分けを県内市町で初めて実施した。結果、不要2事業、県実施1事業、市実施現行どおり35事業、市実施見直し45事業、民間化1事業であった。平成20年度予算に約300万円の事業費削減を反映し、職員も自室の事業を誰のためにすべきなのか考える良い機会になった。アンケートでも「実施して良かった」との評価があり、当初の目的は、達成できたものとする。</p>
②有効性			<p>・会場の設定が少し悪く参加者に会議の声が聞こえない場合があった。          ・将来は、主要事業も事業仕分けの対象とすべきである。          ・担当室ともっと協議を行なって対象事業の選定を行うべきであった。</p>
③投資効果			<p>・平成20年度の事業選定においては、担当室と協議を行なうこととし、5月14日、15日の行政改革管理推進委員会で各室長に事業選定の考え方を説明した。          ・会場については、マイクの使用など改善を行っていく予定である。          ・主要事業については、平成20年度行政評価を行い、その後、次回の事業仕分けを行う段階で導入について検討を行っていくこととした。</p>
		反省点・課題	
		改善の方向性	

<b>2次評価：庁内委員会</b>		実施	H 20 年 7 月 17 日
①事業の評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全体評価	1次評価のとおりとする。
②事業の課題			
③事業の改善方向			
④投資効果			

<b>外部評価委員会</b>		実施	H 20 年 8 月 8 日
①事業の評価結果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全体評価	<p>市民委員の評価能力の向上も課題である。          平成21年度以降も継続に努めること。</p>
②事業の課題			
③事業の改善方向			
④投資効果			